

Doc.No : NR040712

2004年7月12日

低温IPA乾燥技術を半導体ウエハー洗浄装置に搭載 ～バッチ式洗浄装置の性能向上とアプリケーションの拡大を図る～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)の半導体機器カンパニー(社長：末武 隆成)は、オランダの大手電子機器メーカー、ロイヤル フィリップス エレクトロニクスが保有する特許のライセンスを受け、このほどウエハーの乾燥プロセスに関するアプリケーション技術をバッチ式^{※1}洗浄装置に搭載しました。

今回フィリップス社からライセンスを受けた特許技術は、マランゴニ対流^{※2}を利用した処理プロセスで、当社のバッチ式洗浄装置に組み込まれる乾燥ユニットに搭載されます。この技術を使用することにより、IPA(イソプロピルアルコール)を利用した乾燥プロセスの低温化が可能になるため、次世代デバイスプロセスにおける高温IPA乾燥処理時の問題点を克服し、バッチ式洗浄におけるアプリケーションの自由度を拡大させることができます。

当社はこの技術の採用によって、装置の性能を向上させ、ウエハー洗浄装置のさらなるシェアの拡大を目指します。

なお、今回の技術を搭載したバッチ式洗浄装置は、2004年7月から出荷を開始します。

※1 バッチ式

複数のウエハーを一度に処理できる方式。

※2 マランゴニ対流

アルコールの濃度や温度分布によって、液体の表面張力が変化して流れが起きる現象。

*対応機種については別途相談。

■ ロイヤル フィリップス エレクトロニクス

ロイヤル フィリップス エレクトロニクス (本社：オランダ、NYSE:PHG, AEX: PHI)は、世界有数かつまたヨーロッパ最大のエレクトロニクス企業であり、2003年の連結の売上は290億ユーロです。

フィリップスはカラーTV、照明機器、シェーバー、医用画像診断装置ならびに生体情報モニタリング装置およびワン・チップ・テレビICの分野における世界的なリーダーであり、60ヶ国以上にわたって165,300人の従業員が、照明機器、民生用機器、小物家電製品、半導体、医療用機器の事業に従事しています。

フィリップスからのニュースはwww.philips.com/newscenter でご覧になれます。